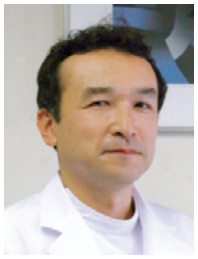
# 消化器病専門医プログラム



プログラム責任者
消化器内科学・神経内科学講座
飯島　克則 教授

| | |
|---|---|
| 専門研修担当者連絡先 | 松橋　保　准教授<br>TEL.018-884-6104　FAX.018-836-2611<br>E-mail　tamotsu@doc.med.akita-u.ac.jp<br>HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~naika1/ |

## プログラムの特徴

消化器内科の診療は消化管グループ、肝胆膵グループに分かれて行われています。診断や治療方針は必ずグループカンファレンスを経て決められ、総合的な判断が必要な症例は外科、放射線科、腫瘍内科との合同カンファレンスで治療方針が決められます。術後の病理診断などの確認もカンファレンスで行います。一つ一つの症例の診断・治療について、必ず複数の医師、複数の診療科が関わっていることが大変重要です。

大学病院の特徴として難治例、治療困難例の紹介が多いので、貴重な症例の経験を積むことができます。また、食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術や超音波内視鏡下FNAなど、ほかの施設ではあまり行われていない検査・治療が色々あります。それらの検査・治療は当科でなければ研修のしようがありません。

最初の1－2年間は所属グループを決める必要はありません。早めにグループを決めたとしても、後で述べる基本的手技はすべて習得できるように指導します。

## プログラムの説明

消化器内科は対象とする臓器が食道、胃、大腸を含む消化管と肝臓、膵臓、胆道系、腹膜と多岐にわたります。そのため習得すべき基本的手技も上部消化管内視鏡検査、胃透視、下部消化管内視鏡検査、注腸造影検査、腹部超音波検査など沢山あります。最初の2年間で基本的手技をマスターし、続いて研修の進み方に応じて、早期癌の内視鏡治療、内視鏡的食道胃静脈瘤治療、肝癌ラジオ波焼灼術、ERCP等の高度な手技の習得を目指します。

豊富な症例と大勢の経験豊かな医師の指導により、消化器病専門医、肝臓専門医、消化器内視鏡専門医の取得を目指します。

## 専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

**■各種学会認定専門医数**

| | |
|---|---|
| 消化器病学会 | 指導医 3名、専門医 13名 |
| 肝臓学会 | 指導医 2名、専門医　5名 |
| 消化器内視鏡学会 | 指導医 3名、専門医 10名 |

**■各種学会施設認定**

消化器病学会、肝臓学会、消化器内視鏡学会

**■出身大学・出身高校**

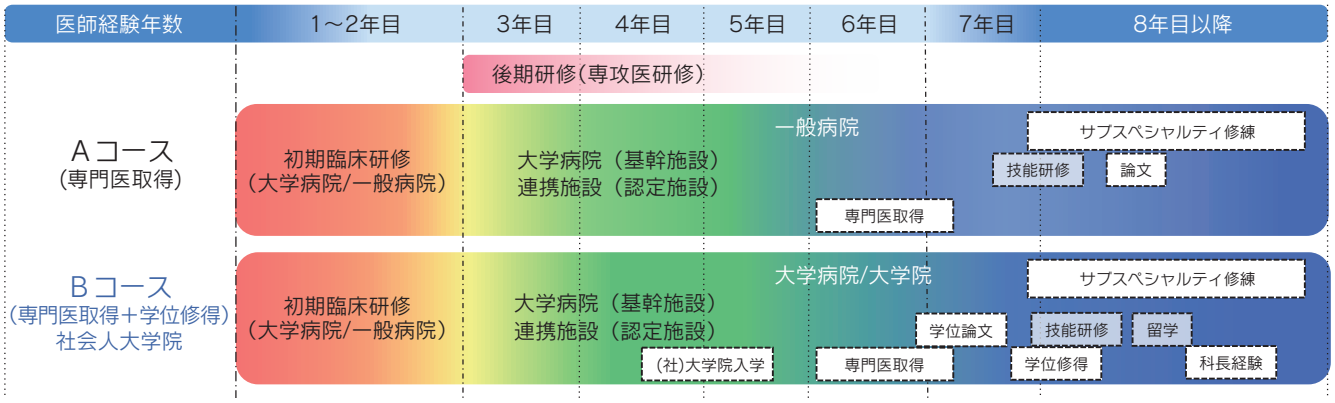
出身大学：東北大学、秋田大学、自治医科大学、岩手医科大学、獨協医科大学

出身高校：秋田高校、横手高校、大館鳳鳴高校、能代高校、函館ラサール高校、盛岡第一高校、仙台育英学園、水戸第一高校、宇都宮高校、桐朋高校

**■主な連携施設**

秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院、秋田赤十字病院、本荘第一病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、市立横手病院、能代厚生医療センター

## ■取得までのキャリアパス




※現段階での受験資格は、消化器病学会専門医は内科臨床研修終了後、満3年以上の消化器病学会認定研修。
肝臓専門医は、初期一般研修終了後、肝臓専門医研修カリキュラムに従って5年以上の肝臓病学臨床研修。

**◆主要なサブスペシャルティ：**
**消化器病学会専門医、肝臓専門医、日本消化器内視鏡専門医**